熱電併給型動力発生装置（コージェネレーション）

①下記②③以外の場合　⇒　チェックリスト①を使用（コージェネレーションはチェックリスト①に該当。②、③は不要）
②当該設備が一代前モデルのソフトウエア組込型機械装置（中小企業者等が取得又は製作をするものに限る。）である場合　⇒　チェックリスト②を使用
③当該設備がソフトウエア（中小企業者等が取得又は製作をするものに限る。）である場合　⇒　チェックリスト③を使用

【チェックリスト①】

			製造業者記入欄	証明者 チェック欄
該当要件	コージェネレーション設備に該当するか	下記の（ア）又は（イ）のいずれかに該当。 （ア）エンジン又はタービンから排出された熱を利用するために廃熱利用機器（熱交換器、廃熱ボイラー又は廃熱吸収式冷温水器等）を同時に設置すること。 （イ）その他の形態で熱と電気を同時に利用していることを証明できる。	１．該当　　２．非該当 ＜廃熱利用形態＞ （＊） ・左記を証明する図面添付。 図面番号：【　　】 ・以下の１．～４．のいずれかに用途を明記。４．の場合は次項も記載。 １．蒸気【　　】 ２．温水【　　】 ３．冷水【　　】 ４．その他【　　】 ＜その他の廃熱利用形態＞ （例：排ガス利用【空調】） ---------- ----------	
	「最新モデル」に該当するか	下記の（ア）又は（イ）のいずれかに該当。 （ア）当該設備は、取得等をする年度から起算して、一定期間（※１）以内に販売が開始されたものであり、かつ販売以降、当該設備より新しい同種同用途のモデルは販売されていない。 （イ）当該設備は、販売開始年度が取得等をする年度及びその前年度であるモデルである。	１．該当　　２．非該当 販売開始年度：２０●●年度 取得等をする年度：２０●●年度	

	「生産性向上」に該当するか	当該設備の一代前モデルと比較して年平均１％以上の生産性向上を達成している。	１．該当　　２．非該当 １．＜一代前モデルが存在しない場合＞ 一代前モデルがないことを証明する書類を添付。ただし、認定済の型式は本資料の添付は不要。 1.公表資料：【　　】 2.その他（書類番号：【　　】） ２．＜一代前モデルが存在する場合＞ ２－１．＜比較指標＞ （＊）以下の１～４までのいずれかの指標で比較。 １．生産効率【　　】 ２．精度【　　】 ３．エネルギー効率【　　】 ４．その他【　　】 ２－２．＜指標数値＞ （一代前モデル）：発電効率【　　】％ 総合効率【　　】％ その他指標【　　】 販売年度（一代前モデル）：【　　】年 （当該設備）　：発電効率【　　】％ 総合効率【　　】％ その他指標【　　】 上記数値を証明する資料を添付。ただし、認定済の型式は資料の添付は不要。 資料番号【　　】 ２－２－１．＜参考情報＞ （一代前モデル）型式：【　　】 （当該設備）型式：【　　】 （当該設備）電源周波数：50Hz【　　】 60Hz【　　】 （当該設備）燃料種別：都市ガス【　　】 LPG【　　】 石油/灯油/重油【　　】 その他【　　】 ２－３．＜生産性向上＞ 年平均【　　】％向上	
先端設備の当否			１．該当　　２．非該当	

（※１）一定期間は、機械装置：１０年、工具：４年、器具備品：６年並びに建物及び建物附属設備：１４年とする。